

**単元名 曲の構成のよさや面白さを味わいながら鑑賞しよう**
**配当時間 2時間**

- 単元の目標** (1) 曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わりを理解することができる。  
 (2) 曲想とリズムや旋律の反復による音楽の構造との関わりについての知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。  
 (3) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

**標準的な展開例**

11260304\_001

**【教材名】** ボレロ ◆組曲「惑星」から第1曲「火星」

(上 P. 30～P. 33)

**【準備等】** 鑑賞映像、タブレット、デジタル教科書

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 「ボレロ」の構成を理解しながら鑑賞する。 ★繰り返される主題やリズム、巧みなオーケストレーションの効果を味わおう。 ○「ボレロ」の冒頭部を視聴し、オーケストラ演奏であることを理解する。 ○スネアドラムなどによるリズムの反復を聴き取る。 ○AとBの二つの主題の反復を聴き取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを活用し、まなびリンクで演奏映像を鑑賞する。</li> <li>・「小太鼓のリズム」の譜例を参考にし、実際に叩くことでリズムを確認させる。</li> <li>・「AとBの二つの主題」の譜例を参考にしながら、タブレットを活用して、「まなびリンク」で冒頭のA・A・B・Bの反復を聴かせる。</li> <li>・舞曲であり、元はバレエ音楽として作曲されたことを確認させる。</li> </ul> <b>【評】</b> 構成と関連する曲想を感じ取る活動を通して、「知識」を評価する。
2 「ボレロ」の曲想を感じ取るとともに、「火星」を鑑賞し、それぞれの楽曲について価値意識を考える。 ★「ボレロ」の鑑賞を基に、「火星」を鑑賞してよさを味わおう。 ○「ボレロ」の曲想を感じ取り、自分なりの価値意識を考える。 ○「火星」を鑑賞し、繰り返されるリズムの特徴や三つの主題に応じた曲想の変化を味わって鑑賞する。 ○「ボレロ」と「火星」の共通性や固有性を整理し、自分なりの価値意識をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな楽器の音色の組み合わせ、楽曲全体にわたる強弱の変化にも着目し、楽曲の魅力やよさをまとめ、発表交流させる。</li> </ul> <b>【評】</b> 表現の特徴や固有性を理解して自分の価値意識をまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ボレロ」と同様に反復するリズムが生かされた構成になっていることを理解するとともに、「火星」の固有性から生まれる雰囲気や曲想を聴き取らせる。</li> </ul> <b>【評】</b> 「ボレロ」の鑑賞を基盤にして「火星」の特徴を理解する活動を通して、「知識」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの魅力やよさをワークシートに整理し、発表交流させる。</li> </ul> <b>【評】</b> それぞれの楽曲のよさや美しさを味わう学習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

**【 備 考 】**

「ボレロ」を主教材とし、曲想と音楽の構造との関わりを理解して、音楽に対する価値意識を考える学習を目指す。また、「ボレロ」の構成の仕方を基盤として、「火星」との共通性や固有性を考え、より豊かに曲想を感じ取ることをねらうこともできる。

**【共通事項】** 音色・リズム・旋律・テクスチャ・強弱・構成